

緑区

面積 2,651ha 人口 104,517人(平成17年4月)

緑の現況

中央には見沼田圃の緑が広がります。西部は土地区画整理事業による住宅地が多いものの、一部には雑木林や屋敷林が点在しています。東部は、東北自動車道を挟んで、樹林地と農地の広がる緑豊かな地区と、新しいまちづくりが進んでいる浦和美園駅周辺地区となっています。また、文化財が多いことからわかるとおり、緑区は古くから人の暮らしの営まれてきた場所です。都市公園は、見沼自然公園・見沼氷川公園・大崎公園などが整備され、市内でも高い整備水準となっていますが、身近な公園の計画的な整備が必要です。



見沼田圃と斜面林



プラザイーストの屋上緑化



見沼自然公園



埼玉スタジアム2002公園



山崎の大ケヤキ



見沼通船堀



氷川女体神社



浦和くらしの博物館民家園

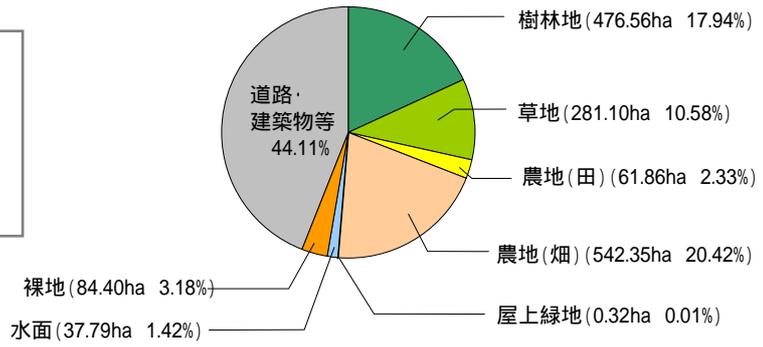
緑の現況

緑被地面積・緑被率

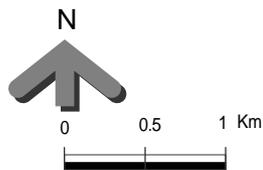
1,484.38ha 55.89%

区民1人当たりの都市公園面積

7.00m²/人



緑被分布図





緑の将来目標

見沼田圃の自然環境とまとまりのある緑を守り、育てます。
歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。
土地区画整理事業にあわせた緑のまちづくりを進めます。
公共公益施設や民有地の緑化を進めます。
緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・見沼通船堀公園
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

見沼田圃の自然環境の保全・活用

- ・見沼田圃・周辺斜面林、河川・水路を一体的に保全し、自然・農業とのふれあい・体験の場として活用します。
- ・見沼田圃の自然環境に配慮した公園や調節池の整備を進めます。

まとまりのある緑の保全・活用

- ・武蔵野の面影を残す代山・南部領辻・大崎・北原・間宮一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用に努めます。
- ・綾瀬川周辺の農地・集落地の緑の保全に努めます。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・吉祥寺・氷川女体神社・見沼通船堀・国昌寺などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・東浦和駅・浦和美園駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

土地区画整理事業にあわせた緑の創出

- ・土地区画整理事業にあわせて、身近な公園の整備と緑豊かなまちなみの形成に努めます。
- ・浦和美園駅周辺では、新しい緑を生み出し、魅力あるまちなみづくりに努めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・区役所や学校などの公共公益施設では、屋上緑化・壁面緑化を含めた多様な緑化に努めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

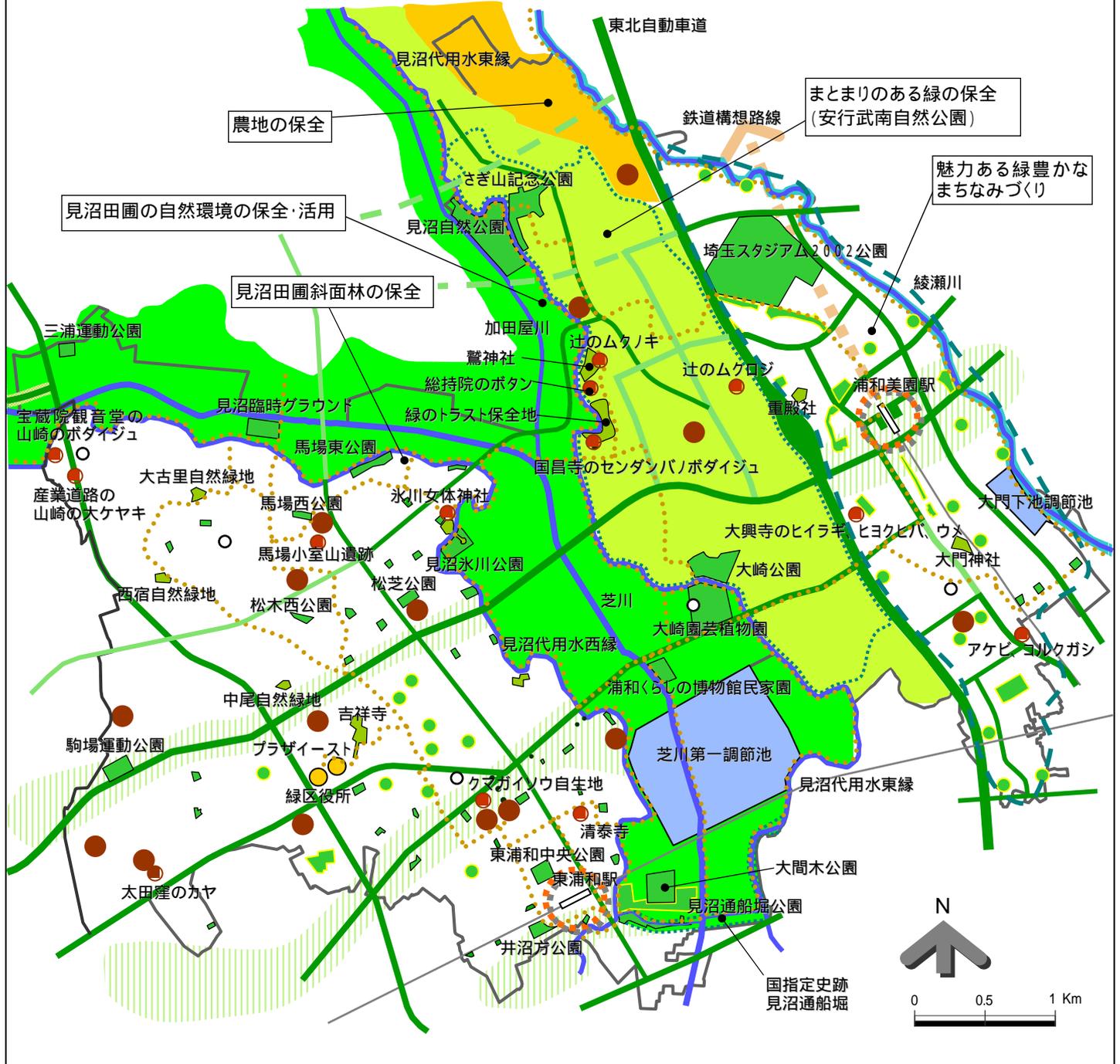
緑と水のネットワークづくり

- ・東西の見沼代用水を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ歩行者ネットワークの充実に努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。

緑区の緑の将来像図



凡例			
	見沼田圃シンボル軸		主な公園緑地など
	緑の骨格軸		(計画・構想)
	低地部の広がりのある農地		条例などによる緑地
	武蔵野の面影を継承する緑		緑の帯
	安行武南自然公園		主な歴史・文化の緑
			学校
			花と緑の駅
			直売所
			街路樹・歩道などを備えた主な道路
			(計画)
			(構想)
			歩行者ネットワーク
			主な公共公益施設

岩槻区

面積 4,916ha 人口 111,788人 (平成17年4月)

緑の現況

中央には自然が豊かな元荒川が南北に、西には綾瀬川が巡っています。元荒川・綾瀬川周辺の低地には水田を主とする農地や集落が広がっています。台地上には住宅地が形成されていますが、北部や南部の一带は、雑木林・屋敷林・農地が混在する緑の濃い地域となっているとともに、台地を取り囲むように斜面林が連続しています。また、中心市街地は岩槻城の城下町であったことから、岩槻城址をはじめとする歴史を背景とした地域固有の緑も多く残されています。都市公園は、岩槻城址公園・岩槻文化公園・川通公園などが整備されていますが、身近な公園の計画的整備が必要です。



元荒川



岩槻城址公園



南部の農地と斜面林



赤坂沼



久伊豆神社



赤間堀自然緑地



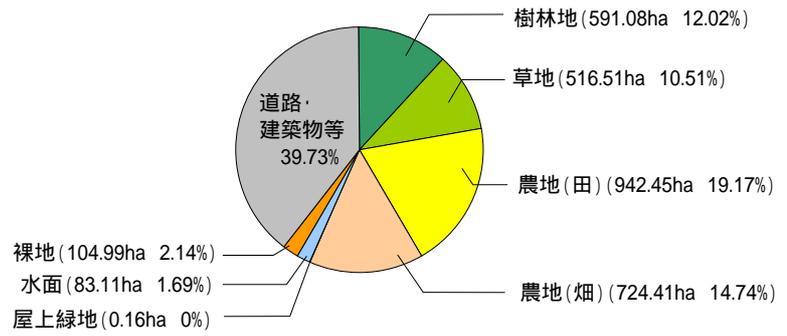
日光御成道の杉並木



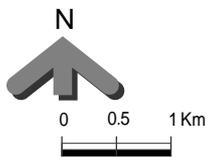
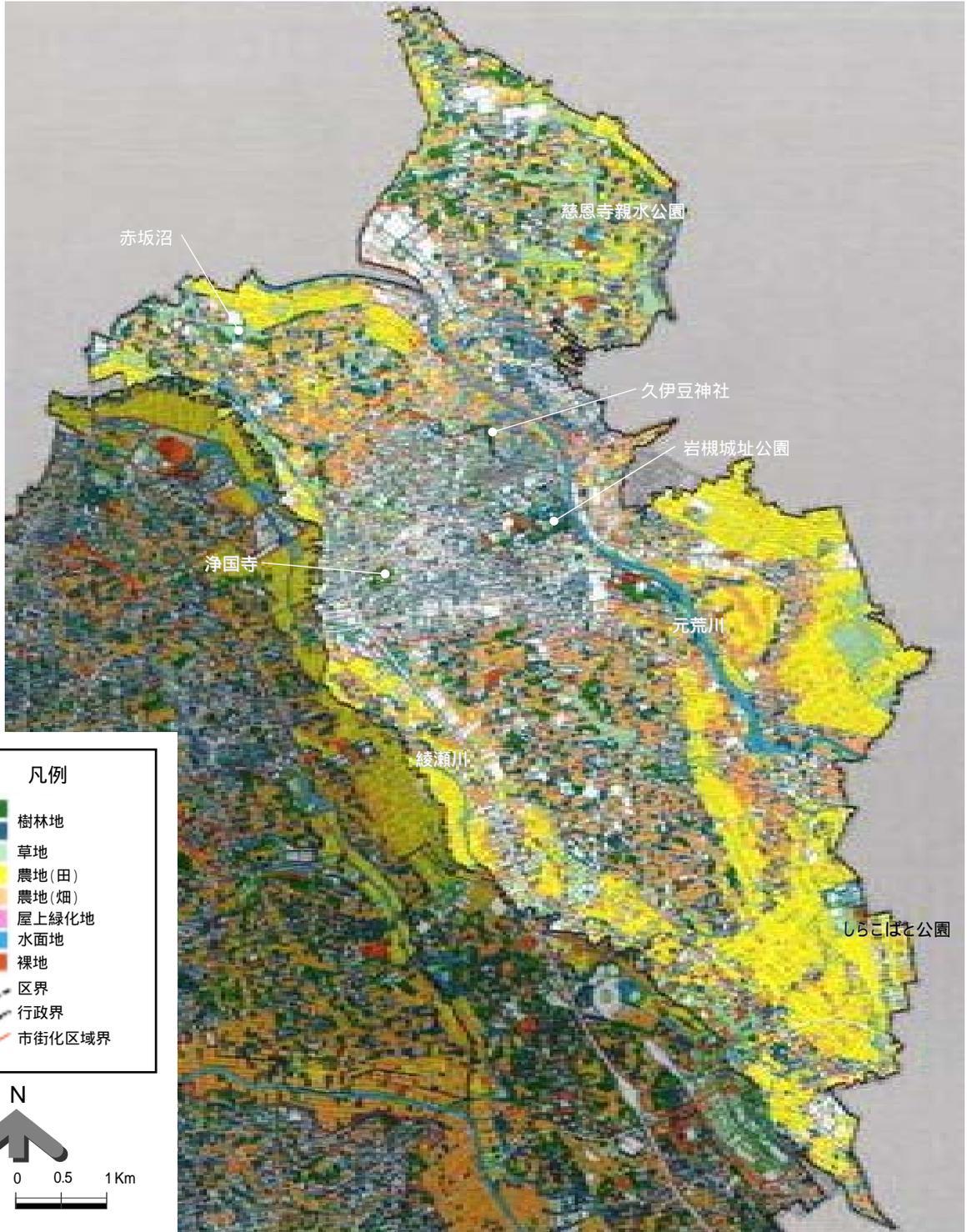
慈恩寺親水公園

緑の現況

緑被地面積・緑被率
 2,962.71ha 60.27%
 区民1人当たりの都市公園面積
 5.48m²/人



緑被分布図





緑の将来目標

元荒川・綾瀬川と周辺の自然環境を守り、育てます。
まとまりのある緑の保全と活用に努めます。
歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。
公共公益施設や民有地の緑化を進めます。
緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・元荒川緑地
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

元荒川・綾瀬川と周辺の緑の保全・活用

- ・元荒川と周辺の貴重な自然環境の保全・復元に努めます。
- ・キタミソウ・チョウジソウ自生地などの貴重な自然環境の保全に努めます。
- ・綾瀬川の周辺の斜面林などの保全に努めます。
- ・赤坂沼と周辺の斜面林の一体的な保全に努めます。

まとまりのある緑の保全・活用

- ・武蔵野の面影を残す北部・南部一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用を目指し、緑地保全地域などの指定を検討します。
- ・区の南部に広がる農地を市全体の環境を支える場として保全に努めます。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・岩槻城下町の歴史を伝える緑や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・岩槻駅・東岩槻駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

土地区画整理事業にあわせた緑の創出

- ・土地区画整理事業にあわせて、身近な公園の整備と緑豊かなまちなみの形成に努めます。
- ・岩槻南部地区では、新しい緑を生み出し、魅力あるまちなみづくりに努めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・区役所や学校などの公共公益施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

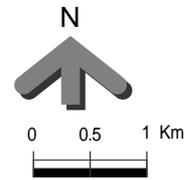
緑と水のネットワークづくり

- ・元荒川・綾瀬川などの水辺を軸として、周辺の公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。

岩槻区の緑の将来像



凡例			
	元荒川シンボル軸		主な公園緑地など (計画・構想)
	緑の骨格軸		条例などによる緑地
	低地部の広がりのある農地		緑の帯
	武蔵野の面影を継承する緑		主な歴史・文化の緑
			学校
			花と緑の駅
			街路樹・歩道などを備えた主な道路 (計画)
			街路樹・歩道などを備えた主な道路 (構想)
			歩行者ネットワーク
			直売所
			主な公共公益施設